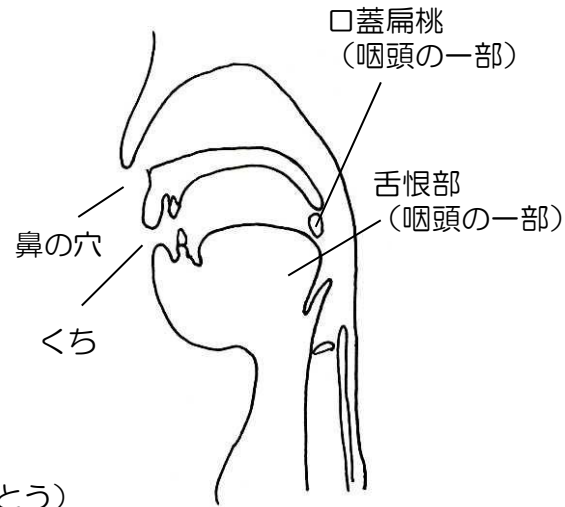
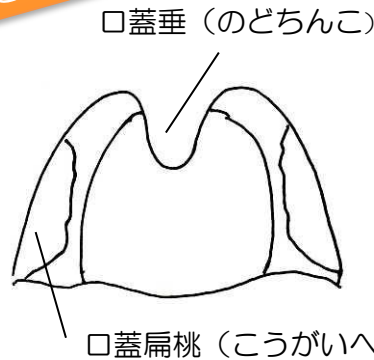


# 咽頭異物

(のどに刺さった魚の骨など)



## 原因と症状

- ・咽頭異物とは誤って飲み込んだ異物がのどに引っかかることです。
- ・異物の種類として圧倒的に多いのは魚の骨で、多くは口蓋扁桃に引っかかります。薬の包装や義歯なども原因となります。
- ・飲み込んだ直後から、のどに物が引っかかった感じや痛みが現れます。

## 診断と治療

- ・口から直接、あるいは鼻から内視鏡を入れて、まず異物をさがし、異物が見つかれば摘出を試みます。
- ・異物が見つからなければCTなどの画像診断で確認することがあります。
- ・異物が脱落しても咽頭痛や違和感などの症状が残ることがありますし、小さいものなどは発見が難しいこともあります。

## 家庭で注意すること

- ・異物を取ろうとして、ごはんを丸飲みする人がいますが、これではかえって異物が深く刺さってしまうこともあるので避けましょう。
- ・診察で異物が見つからなくても痛みなどの症状が続くようであれば、再度診察を受ける必要があります。

## 急患診療センターを受診するめやす

- ・異物を飲み込んだ後、痛みや違和感がある場合はすぐに急患センターの耳鼻咽喉科を受診してください。
- ・ただし急患センターの耳鼻科外来は日曜祝日、年末年始、GWの昼間(9時~18時)のみです。
- ・小さな骨などは自然にとれることもありますが、症状が続く場合は翌日でも結構ですので最寄りの耳鼻咽喉科を受診してください。
- ・痛みが強く呼吸が苦しいような場合は救急車を呼んでください。

新潟市急患診療センター (電話025-246-1199)

<http://www.niigata-er.org>